

## 第12回 宮川・庄川流域新五流総地域委員会 ー議事要旨ー

日時：令和5年9月1日（金） 14：00～16：00

場所：飛騨総合庁舎 本館2階 中会議室

### 1. 議事

- (1) 規約の改正について
- (2) 宮川流域における総合的な治水対策プランの進捗について
- (3) その他
  - ①河川課からの情報提供（岐阜県河川課）
    - 1) 流域治水の推進について
    - 2) 新五流域総合治水対策プランの改定に向けて
    - 3) 県内の水辺空間活用事例について
    - 4) 「岐阜県川の防災情報」の機能追加について
    - 5) 水難事故防止に向けた啓発
  - ②砂防部局の取組みの共有について（岐阜県砂防課）
  - ③神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会の取組みの共有について（仮）  
（神通川水系砂防事務所）
  - ④「顕著な大雨に関する気象情報」の新たな運用について（岐阜地方气象台）
  - ⑤AIを活用した「ダム最適運用システム」の運用開始について  
（北陸電力㈱再生可能エネルギー部）

## 2. 議事要旨

### 議事（１） 規約の改正について

規約の改正が必要となった背景や改正の内容について、資料に基づいて事務局から説明があり、改正案が了承された。

規約を改正し、当日付けで施行する。

### 議事（２） 宮川流域における総合的な治水対策プランの進捗について

ハード対策及びソフト対策について、資料に基づいて事務局より説明があり、質疑応答や意見交換がなされた。

#### 【説明内容】

各対策の進捗状況について報告された。

#### ① ハード対策

- ・流域内の各河川（宮川、苔川、江名子川、太江川）の改修事業について
- ・魚道の機能回復
- ・河川構造物の長寿命化
- ・河川魚道の点検

#### ② ソフト対策

- ・県及び市町村の取組の紹介（※）  
（※市町村の取組については、質疑応答にて補足があったため、まとめて後述する。）
- ・河川監視カメラ及び水位計設置の進捗状況
- ・各市町村の組織（水防団、小中学校、建設業協会）への防災意識向上のための取組
- ・サテライト拠点の整備、運用
- ・丹生川ダムの運用状況

#### 【質疑応答・意見交換】

[質問①：原田委員長]

- ・ハード対策（河川改修）の進捗が想定より進まなかった箇所について、今年度の短期プラン計画の見直しの際にどのように反映させるか教えていただきたい。

[回答：岐阜県河川課]

- ・計画全体を俯瞰し、各河川の改修計画進捗率を確認・把握する必要があると考えている。  
次に、確認した改修計画の進捗率に対して自己評価及びフォローアップを行った上で、個々の河川の課題や近年被災した河川、流域治水等の新たな視点を取り入れて、改めて中期、長期を見据えた短期プランを設定したいと考えている。

[質問②：高山土木]

- ・市町村にて行っているハード対策及びソフト対策の取組があれば紹介していただきたい。
- ・県のハード対策及びソフト対策の取組について、改善点があれば教えていただきたい。

[回答A：高山市]

- ・ハザードマップの更新や自治体内での訓練や講習会の実施を行っている。
- ・これまでの活動を継続していただく中で、高山市として助力できることもあるかもしれないので、何か問題があれば一度ご相談いただけるとありがたい。

[回答B：飛騨市]

- ・ハザードマップの更新や自治体内での訓練に加えて、飛騨市防災士会と契約を結び、市内の防災倉庫・備品の点検業務（年2回）を行っている。
- ・平時に防災士の方に避難所開設に関わる訓練を行い、実際に避難指示があった際に避難所の開設をしていただき手当を支給する「避難所開設運営協力防災制度」を制定している。
- ・避難指示の判断材料として活用している高原川の西里橋カメラの映像が悪い（特に夜間）ため、改修していただきたい。

[回答C：白川村]

- ・ハザードマップの配布や防災訓練（年1回）を行っている。
- ・引き続き、河川（庄川）に土砂が溜まった際には、浚渫工事を施工していただきたい。

[質問③：原田委員長]

- ・市町村にて立地適正化計画は作成されているか。また、作成されていた場合、居住誘導区域を災害危険区域から外すことや防災計画を作成するといった議論はしているか教えていただきたい。

[回答A：高山市]

- ・現段階で立地適正化計画に関する議論はしていない。

[回答B：飛騨市]

- ・現段階で立地適正化計画に関する議論はしていない。  
ただし、ハザードマップ等を基に災害危険区域に新規で建物を建てないように指導を行っている。

### 議事（3） その他

#### ①河川課からの情報提供（岐阜県河川課）

以下の内容について説明があり、質疑応答がなされた。

#### 【説明内容】

##### 1) 流域治水の推進について

- ・流域治水の推進の背景となる気温変化の予測、近年の雨の降り方の変化、それを踏まえた対策の3つの柱について説明がなされた。あわせて、各対策の柱に関する具体的な事例の紹介がなされた。

##### 2) 新五流域総合治水対策プランの改定に向けて

- ・新五流域総合治水対策プラン改定に向けて検討すべき内容や河川改修の次期目標設定に向けた説明がなされた。あわせて、流域治水と新五流域総合治水対策プランとの関係性や流域治水を新五流域総合治水対策プランへ取り入れるための取組や検討内容について説明がなされた。

##### 3) 県内の水辺空間活用事例について

- ・まちづくりと一体となったハード整備を行う「かわまちづくり制度」、河川区域内で民間事業者による営利活動が可能となる「都市・地域再生等利用区域制度」の説明がなされた。
- ・上記の制度を用いて事業化を検討する際に活用可能な「官民連携基盤整備推進調査費」や、県内における水辺空間を活用した事例の紹介がなされた。

##### 4) 「岐阜県川の防災情報」の機能追加について

- ・「岐阜県川の防災情報」に市町村防災担当者向けのページを新設したこととその機能について説明がなされた。

##### 5) 水難事故防止に向けた啓発

- ・岐阜県で水難事故防止の啓発活動のためにチラシを配布しており、市町村においても活用していただきたいと説明がなされた。

#### 【質疑応答】

##### [質問①：飛騨市]

- ・高原川の西里橋にも水位予測機能を追加いただきたい。
- ・流域治水への取組が必要なのは理解できるが、飛騨市はほぼ氾濫域のため、（被害の対象を減少させるための対策として）土地の開発指導や移転等を進めるのが非常に困難であることをご理解いただきたい。

##### [回答：岐阜県河川課]

- ・水位予測機能について、高原川は、水位予測対象の河川でないため対応できない。しかし、国が県管理河川を含めて今後水位予測を行っていくという話もあるため、関連情報が入り次第提供する。
- ・流域治水への取組について、地域によって対応が難しいのは把握しており、取組内容については検討中である。

## ②砂防部局の取組みの共有について（岐阜県砂防課）

### 【説明内容】

- ・土砂災害への防災体制、防災意識の啓発など砂防部局の取組について説明がなされた。また、下呂市や郡上市における避難行動により命を守った事例の紹介がなされた。なお、質疑等はなかった。

## ③神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会の取組みの共有について（神通川水系砂防事務所）

### 【説明内容】

- ・「神通川・庄川上流流域大規模土砂災害対策連絡協議会」における防災に関する取組について、協議会内での訓練から住民説明会の対応まで段階的に行ったこと等の説明がなされた。なお、質疑等はなかった。

## ④「顕著な大雨に関する気象情報」の新たな運用について（岐阜地方気象台）

### 【説明内容】

- ・「顕著な大雨（線状降水帯）に関する気象情報」の新たな運用に関するロードマップとともに、これまでの発表基準からの改正内容や今後の改善目標に関する説明がなされた。あわせて、本年度の情報発表例の説明がなされた。なお、質疑等はなかった。

## ⑤AIを活用した「ダム最適運用システム」の運用開始について（北陸電力㈱再生可能エネルギー部）

### 【説明内容】

- ・北陸電力㈱で運用している7つのダムにおけるAIを活用した流域内の雨量に伴う流量の変化について予測し、発電の運用方法を決定する「ダム最適運用システム」について説明がなされた。あわせて、防災意識向上を目的とした行政や住民等が参加するシンポジウムを行っていることの説明がなされた。尚、質疑等はなかった。

### 3. 議事全体を通しての意見交換

[発言者①：飛騨市消防団]

- ・消防団においても防災士の取得や防災倉庫の点検等の取組を行っている。
- ・「グリーンインフラ」について、現状、山間部においては河岸に樹木等の植生が大量に繁茂しており景観を阻害していると考えられるが、対策等を教えていただきたい。

[回答：高山土木]

- ・質問された内容については理解しており、洪水の支障となる箇所においては、生物に配慮しつつ伐採をしている。

[発言者②：高山市消防団]

- ・水位計や河川監視カメラを活用し、団員の安全に配慮しつつ氾濫状況を確認している。

[発言者③：古川町区長会]

高齢者等の事前避難の指標として用いるため、以下の内容について教えていただきたい。

- ・線状降水帯は飛騨市のような内陸部においても発生することがあるか。
- ・線状降水帯が何時間くらい停滞したら危険であるか。
- ・線状降水帯の情報は半日以上前に確認出来るのか。

[回答：岐阜地方気象台]

- ・大気環境が整えば、線状降水帯が発生する可能性はある。
- ・今年的美濃地方の記録的短時間大雨のような、1時間で100ミリ程度の降雨が数時間続くだけで大災害が起こる可能性がある。
- ・現状の気象庁の技術では、半日以上前に正確な気象情報を提供することができない。ただし、気象庁のホームページには、災害の警戒度レベルを示す「キキクル」というページがあるので、そちらを活用していただきたい。

[発言者④：宮川を美しくする会]

- ・宮川（一之宮町～石浦町）の草刈りを中心とした清掃を行っている。
- ・一部区間において、護岸の崩壊や土砂の堆積、支障木等が確認されているため、対処していただきたい。
- ・江名子川との合流点より下流区間において川が蛇行しているため、ある程度中央付近に流れるように改修していただきたい。

[回答：高山土木]

- ・護岸の管理、補修は引き続き努めていく。支障木の伐採についても昨年度に引き続き行う予定である。
- ・改修の際には川の流心を中央付近にするという考えで行っている。ただし、川の流れは蛇行する性質があるため、時間経過により変わってしまう可能性もある。

[発言者⑤：宮川漁業協同組合]

- ・高山市国府町広瀬町の宮川の護岸工事について、河道の中に滞筋を作ってほしい（スライドダウン掘削、護岸際の寄せ石等を行い、生息場所を確保して欲しい）とお願いしたが反映されていなかった。

[回答：古川土木]

- ・ご指摘のとおりであり（回答者自身も）現地を確認した際に寄せ石が少ない等、もう少し工夫の余地があったと思う。今年度も近隣にて河川工事の予定があるため、その際は配慮していく。

[発言者⑥：古川盆地宮川下流域を水害から守る会]

- ・宮川において13号橋梁（JR）と鷹狩橋の付近の川幅がとても狭いため、改修工事を行っていただきたい。

[回答：古川土木]

- ・ご指摘いただいた箇所については、鷹狩橋上流区間の改修を進めながら、今後検討を進めていく予定である。  
施工時期については、今しばらくお待ちいただきたい。